

令和元年度 高冷地水稲生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(8月1日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡	出穂日
				葉色板	SPAD値		
たかやまもち	本年	-	-	-	-	-	7月27日
	前年	-	-	-	-	-	7月21日
	平年	-	-	-	-	-	7月26日
あきたこまち	本年	-	-	-	-	-	7月29日
	前年	-	-	-	-	-	7月22日
	平年	-	-	-	-	-	7月28日
ひだほまれ	本年	83.7 (90%)	355 (109%)	4.5 (-0.3)	41.3 (+1.8)	12.0 (-1.5)	8月2日
	前年	-	-	-	-	-	7月27日
	平年	92.7	327	4.8	39.5	13.5	7月30日
ひとめぼれ	本年	80.0 (92%)	520 (102%)	4.1 (-0.3)	36.8 (-0.7)	12.0 (-0.7)	8月2日
	前年	-	-	-	-	-	7月29日
	平年	87.2	512	4.4	37.5	12.7	8月1日
コシヒカリ	本年	87.8 (96%)	471 (102%)	4.5 (+0.6)	38.6 (+4.5)	11.0 (-1.8)	8月4日
	前年	-	-	-	-	-	7月31日
	平年	91.8	463	3.9	34.1	12.8	8月4日

栽培条件：移植5月14日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²、平成27年度は21.2株/m²、H28～30年度は 22.2株/m²

平年値：過去4年間(H26年～H29年)の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月下旬の気温は平年よりやや高めに推移した。また、日照時間は平年やや少なかった。

2) 生育概況

生育は草丈は平年より低く、茎数は平年よりやや多い。葉齡は平年より少ない。梅雨明け後、天候に恵まれたため、「ひだほまれ」、「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」の出穂期の差は短いと予想している。

3) 病害虫等の発生状況

7月上中旬頃からドロオイムシの発生が確認されている。紋枯病の発生も確認されている。

4) 今後の管理

出穂から開花期は稲が最も水を必要とする時期であるため、常時湛水管理とする。また、出穂後4～7日後を目安に1回目のカメムシ防除を行い、必要に応じて2回目も行う。

令和元年(2019年)の気象図

— 本年
- - - 平年

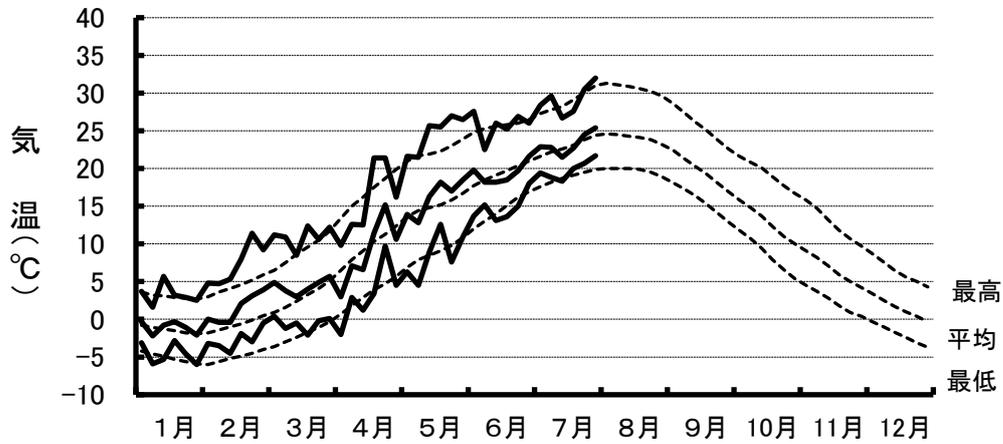


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

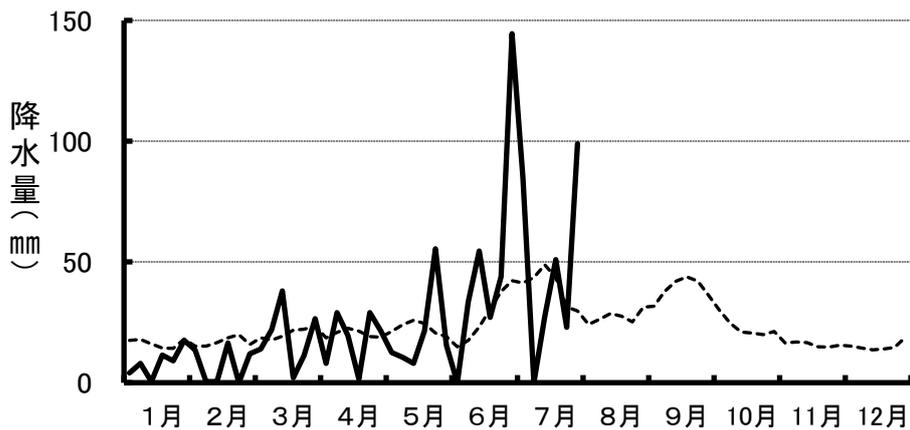


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

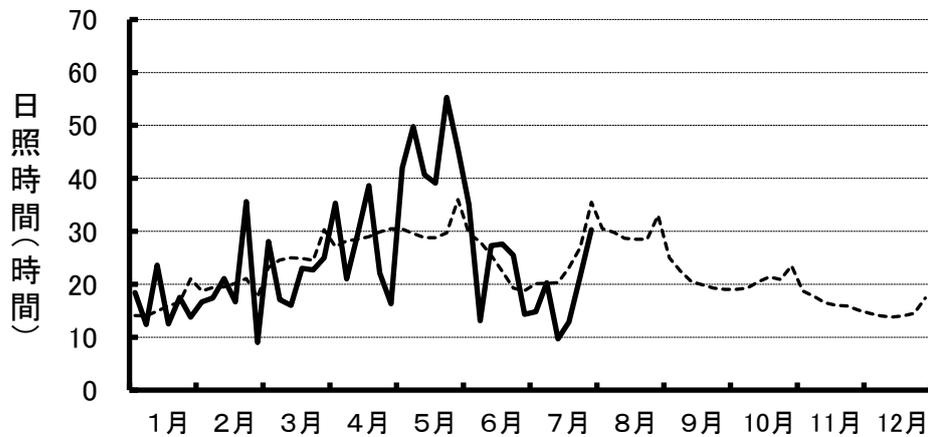


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所